



研究と開発で未来を創る
プレミックスモルタルメーカー

二瀬窯業株式会社



ウェブサイト



インスタグラム

本社及び各営業所・工場所在地

本 社 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 TEL.0948-22-0447 FAX.0948-29-0289

東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F
〒105-0014 TEL.03-6453-6685 FAX.03-6453-6686

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F
〒452-0006 TEL.052-509-2485 FAX.052-509-2486

大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F
〒552-0002 TEL.06-6583-3310 FAX.06-6583-3325

福 岡 営 業 所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 TEL.0948-22-0447 FAX.0948-29-0289

本 社 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 TEL.0948-22-0447 FAX.0948-29-0289

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 TEL.0438-30-7372 FAX.0438-30-7472

エコマーク認定製品は
関東工場で生産しています



ISO 14001取得企業

【当社はCSR活動に取り組んでいます】



公益財団法人
日本児童養護施設財団

二瀬窯業株式会社は
公益財団法人
日本児童養護施設財団に
寄付を行いました。
詳細は二次元コードより。



Quality premixed mortar for quality brick buildings

BRICK MORTAR

レンガ積み工事材 / 粗面仕上用化粧目地材



二瀬窯業株式会社



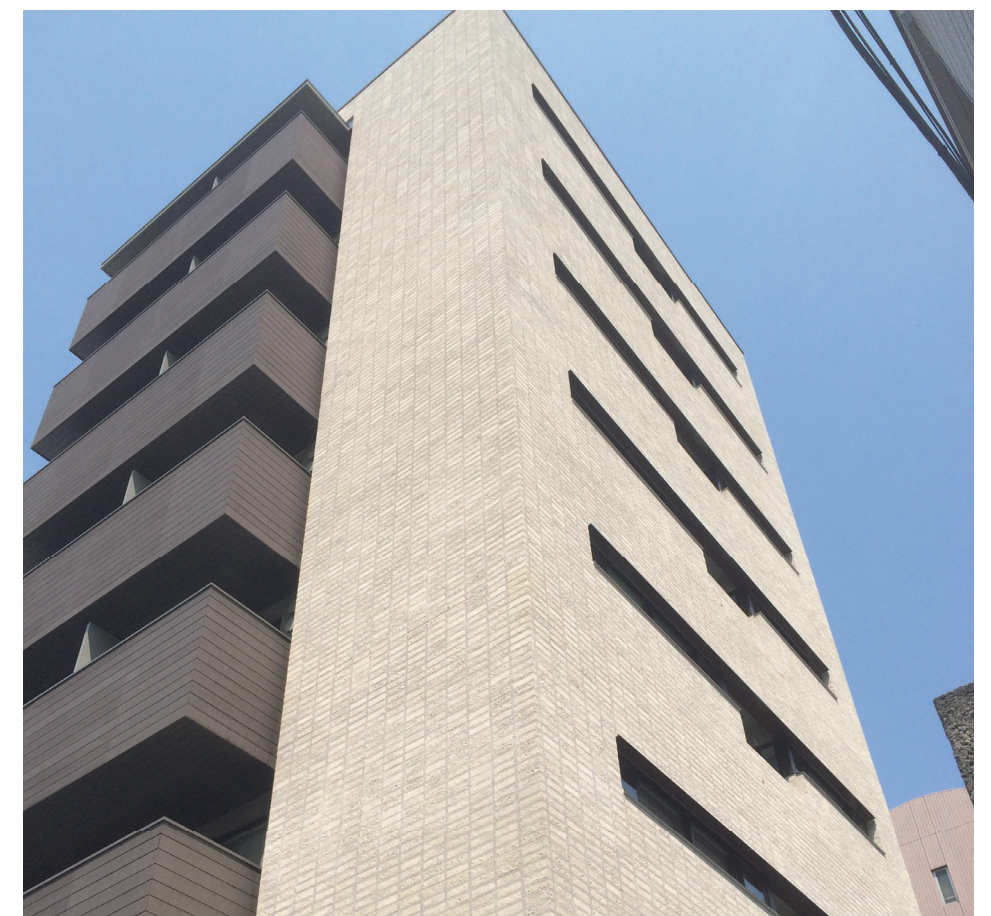


レンガ建築のデファクト・スタンダード

BRICK MORTAR



ブリックモルタルは1983年の発売以来、今日まで^{たゆ}め研究開発を通し、今なお進化を続ける
プレミックスタイプのレンガ積み工事材／粗面仕上用化粧目地材です。レンガ積み可能な
Mタイプと、塗り目地工法に最適化した化粧目地材のTタイプをラインアップして、様々な現場
仕様に柔軟に対応します。





Textures and Patterns



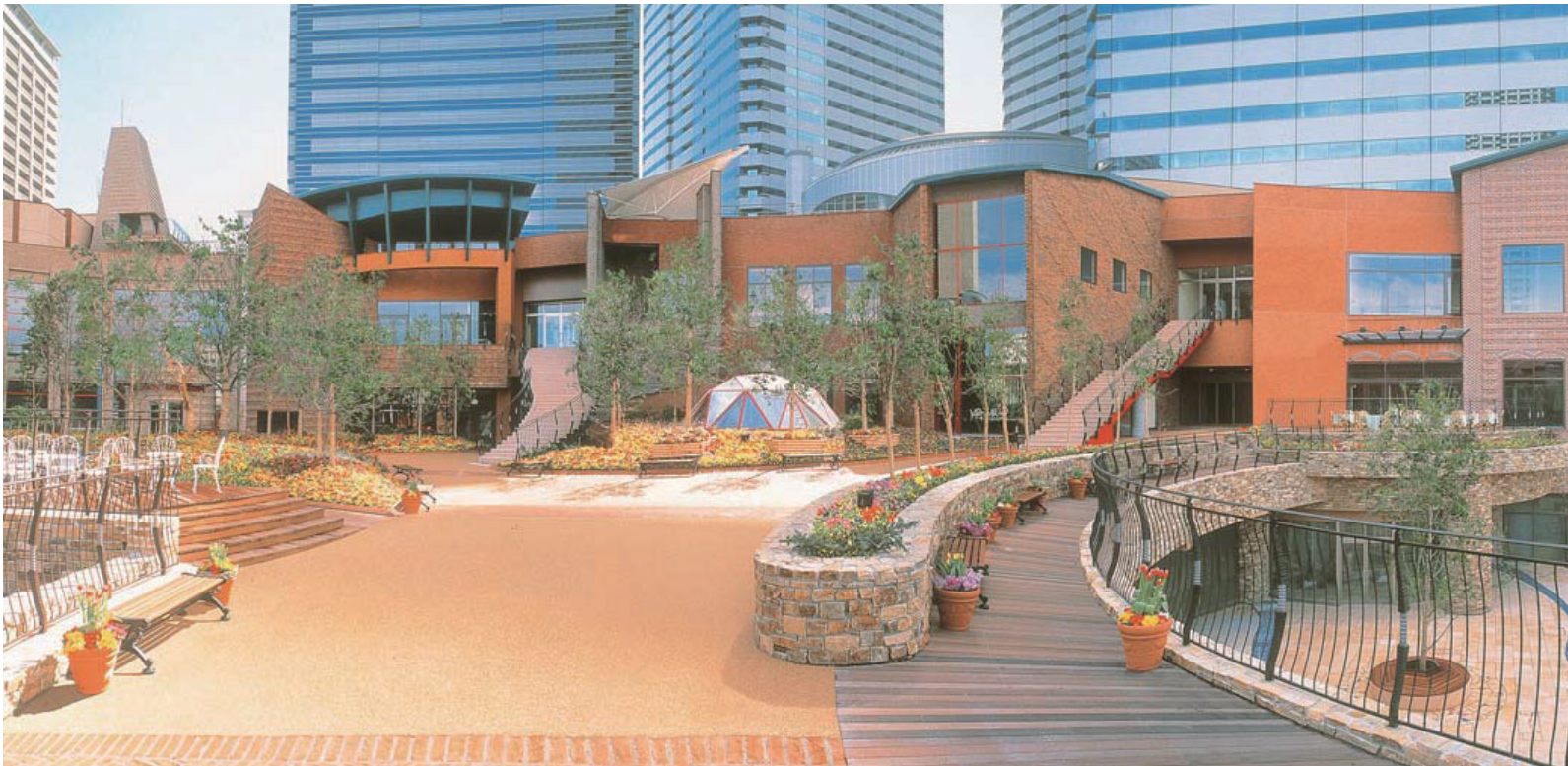
目地幅10mm/DS06M アースブラウン



目地幅15mm/DS14M ヴィンテージホワイト



目地幅20mm/DS10M ブラック



特長について

歴史と伝統のレンガ積み／レンガ積み風目地材

白華を抑制し、美観や施工面を守る

弊社はレンガ工事材料のパイオニアとして数十年の実績があり、全国でご使用頂いております。建物の美観を著しく損ねる白華現象の発生メカニズムを紐解き、配合や混和材を厳選することで、モルタル表面に発生する白華現象を抑制します。目地材として使用した場合は、施工面（張付材）を風雨から守り、タイルの剥落なども抑制します。

環境保全に配慮した製品シリーズ

「ブリックモルタル」は、結合材や骨材、混和材など全ての原材料を工場にて予め配合した状態で出荷するレンガ積み・目地詰め工事用のプレミックスモルタルです。関東工場で製造している「ブリックモルタル」は、天然砂に代えて弊社が開発した高性能なリサイクル原料である「高炉水砕スラグ加工砂」を配合した環境配慮型製品で、エコマーク認定を取得しています。

製品シリーズ	ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
荷姿 (25kg紙袋)	  ※DS14Mを除く	  ※DS14Tを除く
適用工法	レンガ積み、一本目地工法	塗り目地工法
適用目地幅	レンガ積み:10mm程度 一本目地:8mm以上	5～10mm程度
標準使用量 (目地詰め施工)	約3㎡／袋 二丁掛タイル(60×227mm) 目地幅:10mm、目地深さ:15mmの場合	約12㎡／袋 50二丁タイル(45×95mm) 目地幅、目地深さ:5mmの場合
標準使用量 (レンガ積み施工)	約0.5㎡／袋 レンガサイズ(100×210×60mm) 目地幅:10mmの場合	
適用部位	内外装壁面、内外装床面	内外装壁面、内外装床面
練り上がり量	約13ℓ	約13ℓ

性能表示

ブリックモルタル

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0405017
放散等級区分表示	F★★★★
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

ブリックモルタル DS14

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2502001
放散等級区分表示	F★★★★
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁

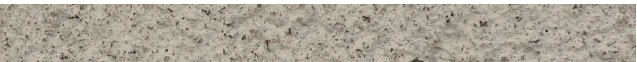
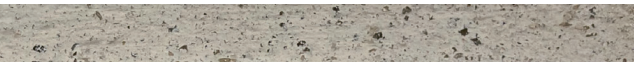
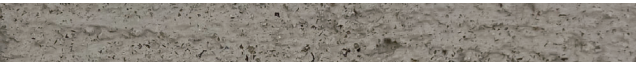
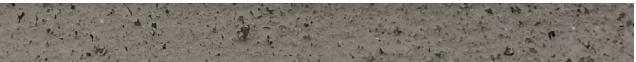
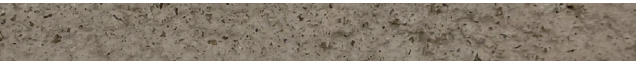
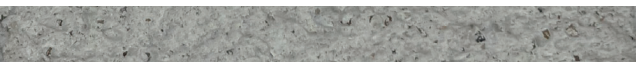
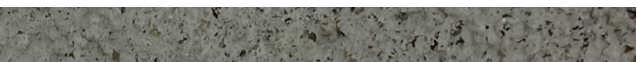
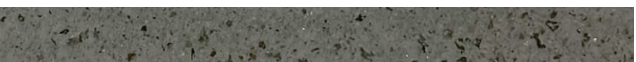
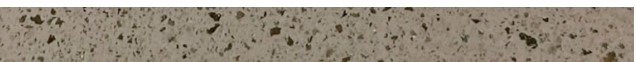
無石綿

業務用

標準色

本色調は、印刷イメージの為、実際の色調とは異なる場合がございます。
現物サンプルをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

最新のトレンドに基づいて人気の色調をセレクトしました。
伝統的な建築にも、モダンな建築にもよく合うカラーです。

ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
 DS00M／オフホワイト【東日本エリア限定色】	 DS00T／オフホワイト【東日本エリア限定色】
 DS01M／サンドイエロー【東日本エリア限定色】	 DS01T／サンドイエロー【東日本エリア限定色】
 DS02M／アイボリー	 DS02T／アイボリー
 DS03M／グレイッシュブラウン	 DS03T／グレイッシュブラウン
 DS04M／カプチーノブラウン	 DS04T／カプチーノブラウン
 DS06M／アースブラウン	 DS06T／アースブラウン
 DS07M／ホワイト【東日本エリア限定色】	 DS07T／ホワイト【東日本エリア限定色】
 DS08M／グレイ	 DS08T／グレイ
 DS09M／ダークグレイ	 DS09T／ダークグレイ
 DS10M／ブラック	 DS10T／ブラック
 DS12M／アッシュグレイ【西日本エリア限定色】	 DS12T／アッシュグレイ【西日本エリア限定色】
 DS13M／イエローベージュ【西日本エリア限定色】	 DS13T／イエローベージュ【西日本エリア限定色】
 DS14M／ヴィンテージホワイト【西日本エリア限定色】	 DS14T／ヴィンテージホワイト【西日本エリア限定色】

【注意事項】

- 製品の製造工場について
DS14MならびにDS14Tについては弊社本社工場での製造となります。その他の製品については弊社関東工場での製造となります。
- ご注意ください
配合する骨材の性質上、施工後に骨材の色調が変化することによって当初の色調から差異が生じる場合があります。予めご了承頂きます様、お願い申し上げます。

施工前の注意事項

【白華現象について】

本製品は、白華現象が極力発生しないよう調合を施していますが、条件がそろえばやむなく発生してしまうこともございます。特に、有機系接着剤張りのタイル目地材として使用する場合は、白華現象が発生しやすくなりますのでご注意ください。施工に際しては、以下の事項に十分注意して施工を行ってください。

○指定水量より多量の水を混入しないでください。 ○固くなったモルタルへの再加水は行わないでください。 ○仕上げのタイミングに十分注意してください。

○目地仕上げ時に水を使用しないでください。 ○施工直後に水濡れがないようシートなどで保護してください。

【事前にモックアップ等で確認を】

セメント系目地材は、気温や湿度・日射による乾燥速度の違いや「仕上げ・拭き取り」を行うタイミングによって、色調に差が出ます。そのため、実施工の前には必ずモックアップ等で仕上げのタイミング(水引き具合)の確認、仕上がりの色調を確認してください。また、実施工においては仕上がりの色調に留意した施工計画を立案するようにしてください。

施工手順

施工に際しては、一般財団法人日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説「JASS19 セラミックタイル張り工事」に沿って

正しく行ってください。もしくは、弊社にて施工要領書を準備しておりますので、お気軽にご請求ください。

●レンガ積み施工要領

ブリックモルタル Mタイプ

※ブリックモルタル Tタイプで、レンガ積み施工は出来ません。

【材料の混練】

①モルタルミキサやモルタル用かくはん機などの機械器具を使用し、ブリックモルタル Mタイプ1袋(25kg)に水道水を3.0～4.0ℓ加え、十分に練り混ぜてください。練り混ぜたモルタルは40分以内に使用してください。

【レンガ積み】

①積み上げ部の下地を清掃してください。

②設計図書に従い、墨出し・水糸張りを行ってください。

③引き金物を使用する場合は、その仕様・配置など設計図書に従ってください。

④積み上げ部の下地に水湿しを行い、表面水が引いた程度でブリックモルタルを敷き均してください。

敷きモルタルはレンガを水糸の位置に合わせて圧着した時、レンガ表面からはみ出すように塗厚を整えてください。

⑤基準レンガを敷きモルタルの上に載せてください。

⑥コテの柄でレンガを叩きながら水糸に合わせて位置決めを行ってください。はみ出した目地モルタルは直ぐには目地切りを行わず、やや締まった状態で行ってください。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのあるタイミングが頃合です。

⑦レンガの側面(片側)に縦目地となるブリックモルタルを塗り付けてください。

⑧縦目地を塗り付けたレンガを敷きモルタルの上に載せ、小幅にずらしながら基準レンガの側面と縦目地モルタルを隙間のないように密着させてください。

⑨コテの柄でレンガを叩きながら縦目地を設計幅に調整しつつ、高さを水糸の位置に合わせてください。

⑩前述⑥～⑨を繰り返し1段目を水平に積み進めてください。

⑪2段目以降の施工は、前述までの要領と同様に行ってください。水湿しについては、当日、水から揚げで積み上げたレンガには必要ありませんが、前日までに積み上げた既設レンガについては左官刷毛などで敷き均し面に水湿しを施してください。

⑫1日の積み上げは5～6段までとします。(下地の目地モルタルがつぶれない高さ)

⑬モルタルを裏込めする場合は、目地モルタルの水引き具合を考慮しながら詰めてください。

【目地仕上げ】

⑭レンガの積み上げ時、はみ出した目地モルタルがやや締まった状態になったらコテを使用してモルタルを切り落とし、レンガと目地の表面とを合わせてください。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのある状態が良いです。積み上げ中に適宜水引き具合を確認しながら行ってください。切り落とした表面が水分の多い状態であると、白華現象の原因になるため注意してください。

⑮スポンジに水を含ませた後、固くしぼってレンガに付着したモルタルを拭き取ってください。

目地モルタルに極力水を吸わせないように注意してください。

⑯仕上げ

(1)目地モルタルの水引き具合を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均してください。削った時にブラシ等にモルタルが貼り付かないタイミングが頃合です。

(2)周辺に付着したモルタルを刷毛ではき落としてください。染みついた場合はスポンジに水を含ませた後、固くしぼって拭き取ってください。この時目地モルタルを濡らさないように注意してください。

【養生】

⑰施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。



●一本目地工法(チューブ詰め)粗面仕上げ

ブリックモルタル Mタイプ

【施工前の確認】

①ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行ってください。

【材料の混練】

②モルタルミキサやモルタル用かくはん機などの機械器具を使用し、ブリックモルタル Mタイプ1袋(25kg)に水道水を3.0～4.0ℓ加え、十分に練り混ぜてください。練り混ぜたモルタルは40分以内に使用してください。

【目地詰め】

③目地詰め用のチューブ袋に練り混ぜたブリックモルタルを詰め込んでください。

チューブに満量詰めると吐出しにくくなるため、適度な量を見計らってください。

④目地部に沿って絞り出すようにして充填してください。仕上げ面より若干厚く付けてください。

⑤水引き具合を見計らい、目地ゴテや硬めのホウキ・ブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように仕上げてください。仕上げ時のモルタルの水引き具合の違いによって、仕上がりの色調に差が出ます。モルタルの水引き具合は、気温や湿度・日射によって変わります。

そのため、施工したモルタルで水引き具合を確認しながら、同じタイミングで仕上げてください。モルタル表面に少し膜が張ったタイミングが頃合です。

⑥タイルに付着したモルタルは、早いうちに水を固く絞ったスポンジで除去してください。(充填したモルタルが濡れないように注意してください。白華の原因になります。)モルタルが硬化してしまうと酸洗いでしか除去できなくなります。過度な酸洗いをを行うと、仕上がりに色調差が出るため、必ず早いうちに除去してください。

【養生】

⑦施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。



●目地詰め(塗りこみ目地)

ブリックモルタル Tタイプ

【施工前の確認】

①ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行ってください。

【材料の混練】

②モルタルミキサやモルタル用かくはん機などの機械器具を使用し、ブリックモルタル Tタイプ1袋(25kg)に水道水を4.0～4.5ℓ加え、十分に練り混ぜてください。練り混ぜたモルタルは40分以内に使用してください。

【目地詰め】

③練り混ぜた材料を、ゴムコテで押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。

④タイル汚れの拭き取りは水引き具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。

⑤スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。

⑥汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って③の拭き取りを繰り返してください。

※拭き取り後に目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意ください。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。)

※場所によって拭き取るタイミングに差が出ると、色ムラの出る恐れがありますのでご注意ください。

【養生】

⑦施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。



施工後の注意事項

【白華現象が起こった場合の処置】

①サッシなどに塩酸がかからないよう要所に養生を施してください。 ②タイル面・目地面全体を十分に水で濡らしてください。

③表面が十分に濡れている間に酸洗いを行ってください。(工業用塩酸を水で30倍に希釈したものを使用し、ブラシなどで塗布する。)

※濃い希釈の工業用塩酸で酸洗いをを行うと、目地表面部分のセメントが溶け、骨材が多く露出します。その場合、骨材の色が目立ち、色調に差が出ます。

そのため、濃い希釈液は使用せず、30倍希釈液を使用してください。また、ブラシでこすり過ぎることで、目地表面部分のセメントが溶け、骨材が多く露出します。

一度目立たない箇所での酸洗いをを行い、仕上がりを確認してから酸洗いを行ってください。

④もう一度水洗いをおこなって、塩酸をきれいに洗い流してください。

注意事項

施工前には必ず施工要領書・安全データシート等をよく読んで、注意安全を十分に理解した後に施工を行ってください。「ブリックモルタル Mタイプ／Tタイプ」の品質保持期間は、製造後約6カ月です。

ブリックモルタル Mタイプ「DS08M」

1

2

3

【試験データ】試験時の気温：20℃

仕上げ時のモルタルの水引き具合の違いによって、仕上がりの色調に差が出ます。

実施工の前には必ずモックアップ等で水引き具合の確認、仕上がりの色調を確認してください。また、実施工においては仕上がりの色調に留意した施工計画を立案するようにしてください。

①は目地詰め後、モルタルが軟らかい状態で仕上げを行なったもの。
→目地詰めから仕上げまでが早すぎるため、薄く（白く）なっています。

②は塗り付け後、適切なタイミング（触って少し濡れていると感じる程度）で仕上げを行なったもの。
→標準的な施工例です。

③は目地詰め後、モルタルが固く締まった状態で仕上げを行なったもの。
→目地詰めから仕上げまでが遅すぎるため、色調が濃くなっています。

【施工上の注意事項】

- 目地詰め後の酸洗い濃度は、工業用塩酸を水で30倍に希釈したものとしてください。濃度が濃いと、目地表面のノロ分が流れてしまい、骨材が多く露出するため、仕上がりが悪くなり、色調が異なって見える場合があります。
- Mタイプ仕上げ時のモルタルの水引き具合の違いによって、仕上がりの色調に差が出ます。
モルタルの締め具合は、気温・湿度・日射・風等によって変わります。
そのため、施工したモルタルで水引き具合を確認しながら、同じタイミングで仕上げてください。
目地詰め後にモルタルが軟らかい時に仕上げを行うと、白華が発生する可能性が高くなります。また、固く締まった状態で仕上げを行うと色調が濃くなります。
色調がバラついたものを同じ色調にするのは非常に困難です。
- タイルに付着したモルタルは、早いうちに水を含ませた後、固く絞ったスポンジで除去してください。
モルタルが硬化してしまうと酸洗いでしか除去できなくなります。過度な酸洗いをを行うと、仕上がりにも色調差が出るため、必ず早いうちに除去してください。
- Mタイプを塗り目地工法では使用しないでください。
スポンジ仕上げ拭き後に骨材が偏って露出してしまい仕上がりが悪くなります。
- 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないでください。
- レンガ積み工事に際しては、レンガは施工前に必ず浸水養生を行ってください。
- 目地詰め工事に際しては、タイル張付け後、十分な養生期間を確保してください。
- 混練水の他、弊社が指定した材料以外との混合・混練はしないでください。
- 強度などモルタルの物性に悪影響を及ぼすため、水を加えて練り直しをしないでください。
- 色調を一定に保つため、水量の管理は厳密に行ってください。
- 色調が変化することがありますので、練り足しはしないでください。
- 固まった材料の使用は避けてください。

- 開封後の材料は、使い切ってください。
 - 使用後の道具・工具類は速やかに水洗いしてください。
 - タイル・レンガ等の材質や表面の仕上げ等によっては、材料がタイル・レンガ等の表面に付着したまま乾燥すると、材料が取れにくくなる事があります。
 - 【取扱い上の注意事項】
 - 取扱いには、適切な保護具（ゴム手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
 - 取扱い後は、顔・手・口等は、清浄な水で洗浄してください。
 - 衣類に付着したものは、取れない時がありますので十分に注意してください。
 - 【安全上の注意事項（応急処置）】
 - 目に入った場合は、速やかに多量の清浄水で洗浄し、状況に応じ眼科医師の診断を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合は、付着した部分を石けんで洗い流した後、状況に応じて医師の診断を受けてください。
 - 吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所へ移動してうがい等を行ってください。気分が優れない場合は、状況に応じて医師の診断を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
 - 【輸送上の注意事項】
 - 紙袋であるため、荷積み注意到し荷崩れ防止等に配慮してください。
 - 紙袋であるため、降雨等の水漏れ防止に配慮してください。
 - 【漏出時の注意事項】
 - 飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収してください。
 - 【廃棄上の注意事項】
 - 内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。
- ※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください

関連資材紹介



弾性目地（ジョイント化粧用） F☆☆☆☆

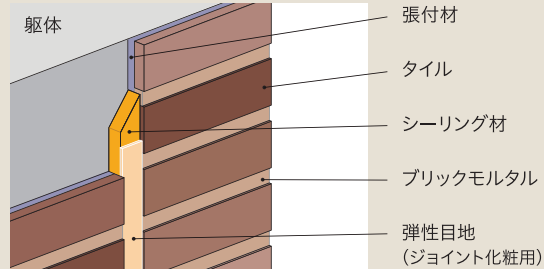
伸縮調整目地用シーリング材の化粧目地材

3.5kgセット
(2.5kgアルミバッグ粉体主材+1kgアルミバッグ液体樹脂)

詳細はこちら



弾性目地（ジョイント化粧用）は、「ブリックモルタル」に準じた色調や風合いを有する特殊樹脂を結合材とした化粧目地材です。タイル・レンガ建築の仕上げにおいて伸縮調整目地を設ける場合、施工するシーリング材の上から弾性目地（ジョイント化粧用）を塗付けることにより、伸縮調整目地部とブリックモルタルで施工した化粧目地部との色調・風合いを合わせる事で壁面の意匠を統一し、タイル・レンガ建築の付加価値を高めます。



プレミアムブリックモルタル F☆☆☆☆

白華抑制タイプの粗面仕上用化粧目地材／
有機系接着剤張り工法の化粧目地材

20kg紙袋

詳細はこちら



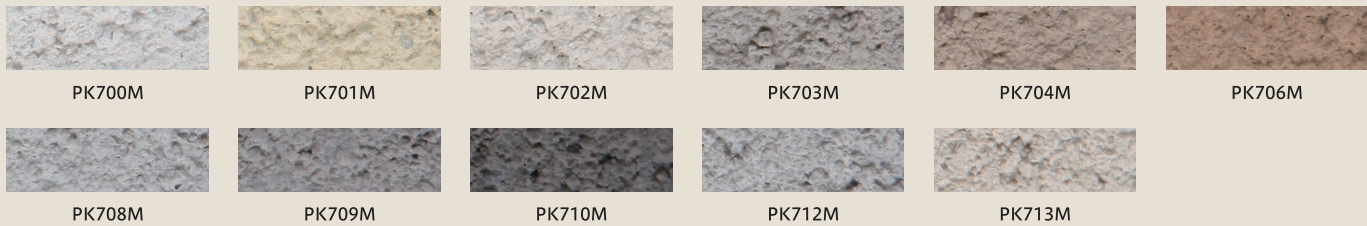
プレミアムブリックモルタルは、白華現象を研究し白華の原因となる物質を極限まで発生させないように原料を厳選、配合を調整した白華抑制タイプの粗面仕上用化粧目地材です。従来のセメント系材料では難しかった、有機系接着剤張りのタイル化粧目地材としても使用できます。

標準色

本色調は、印刷イメージの為、実際の色調とは異なる場合がございます。現物サンプルをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

プレミアムブリックモルタル Mタイプ

適用目地幅:8mm以上／内外装壁面に使用でき、一本目地工法が可能。



プレミアムブリックモルタル Tタイプ

適用目地幅:5～10mm程度／内外装壁面に使用でき、塗り目地工法が可能。

